

2. 市民ワークショップのまとめ

(1) ワークショップの実施概要

①ワークショップの目的

◆総合性

- ・これまでのイベントや活動を基本とするが、商店街やイベントだけに特化せずに、居住や生活の視点による総合的な中心市街地のまちづくりを考える。

◆主体性（要望から自立へ）

- ・中心市街地に住んでいる人が、どのような街にしたいのか、それを実現するために何をすれば良いのか市民主体で考える。また、市民主体のまちづくりを基本とし、市民がやる気が出るワークショップとする。

◆継続性（新たなネットワーク形成のきっかけ）

- ・本ワークショップを通じて、幅広い分野で意見交換を行い、まちづくりの新たなネットワークを形成するきっかけとする。

②ワークショップの実施方針

- ・本ワークショップでは、中心市街地に住んでいる人を対象として、将来のまちづくりの目標を共有するとともに、どのようなまちづくり事業を考えているかを把握する。つまり、まちづくり事業の検討に留めた場とする。
- ・検討されたまちづくり事業は、(仮称)まちづくり協議会（以下 協議会）で必要なものを選別し実行していく流れとする。
- ・なお、ワークショップで検討した事業は、後日、協議会に報告するという前提で、事業・施策等を整理する。

③ワークショップの流れ

第1回ワークショップ:平成24年1月23日(月)

中心市街地活性化に向けた勉強会

【全体】

① 基調講演

- ・【講師】 昌子住江氏 (NPO アクションおっばま理事長)
「多様な主体の連携によるまちづくりの取組」

② 意見交換会

- ・深谷市中心市街地における取組や中心市街地活性化の方向性について市民と講師で意見交換を行います。

第2回ワークショップ:平成24年2月1日(水)

中心市街地の“強み”と“弱み”を共有しよう!!

【グループワーキング】

- ① 中心市街地の“強み”と、“弱み”を出し合い、課題と資源を共有する
※ワークシートを活用し、グループごとに意見を出し合う。
- ② “強み”“弱み”を類型化し、まちづくりの課題を共有する

第3回ワークショップ:平成24年2月21日(火)

まちづくりの将来目標を考えよう!!

【グループワーキング】

- ① SWOT分析シートによる“強み”を活かし、“弱み”を改善する方向性の検討
※SWOT分析の方向性から、実現するために既に取り組んでいる事業、新たに取り組むべき事業・施策を整理
- ② SWOT分析により、テーマ別の将来目標を検討

第4回ワークショップ:平成24年3月1日(木)

市民・地域主体のまちづくり事業・施策を考えよう!!

【グループワーキング】

- ① まちづくりの方向性、既存の取組に関連する事例紹介
※第3回の結果を踏まえ、ファシリテーターから関連する全国的な取組事例を紹介
- ② 中心市街地のまちづくりを実現する事業・施策の整理と提案
※第3回の目標を踏まえ、実現するために既に取り組んでいる事業、新たに取り組むべき事業・施策を整理
- ③ まちづくり事業・施策の実現に向けた協力者・団体の抽出

(2) 中心市街地活性化の課題

① 中心市街地の共通課題

キーワード	課題	
	弱み	強み
人	土・日は平日に比べて非常に人通り車通りが少なく、にぎわいが無い。 今後、世帯がだんだん減ってくる。	市全体の人口が増加している。 子どもの登下校の見張りや地域の助け合いができています。 人と人とのつながりが残っており、隣組(近所)が団結している。 街並みを見に来る人やホテル等の宿泊客数が増えている。 アパート・マンションの入居率が比較的高い地域によっては住宅が増加し、若い世代が増えている。
高齢者	高齢者の一人暮らしが増えている。	高齢者の元気・パワーがあり、面倒見る人が多い。 昔から住んでいる土着の人が多い。 友達や顔見知りが多い。
子ども	子どもの数が少ない。 高校生が立ち寄る場がない。	高校生の通行量が多い。
地域資源 ・歴史	休憩するところがない 文化的行事が少ない—広報活動が下手	お寺や神社、造り酒屋、レンガ煙突・レンガ建造物、古い建物等の歴史資源が多い。 1604年頃に整備された中山道を中心に、路地があり、歴史的温かみのある街並みが形成されている。 花(桜)・野菜・渋沢栄一などの地域資源が豊富である。 「街の映画館」深谷シネマがある 景観モデル地区に指定されている。 素晴らしい駅舎や城址公園などの公共空間がある。

②商店街活性化・イベントに関する課題

キーワード	課題	
	弱み	強み
集まる場所	—	駅や駐車場があり、通勤する人のアクセスが多い。 公共施設(市役所・学校)や病院・銀行などがある。 ホテルなどの宿泊施設がある。
商業・店舗	商店街にお店・商品が減少しており、空き店舗が多い(シャッター通り)。 おしゃれな店や若い人向けの店が少ない。 魅力ある店、新しい系統の店が少ない。 衣類品・飲食店が少ない。 大型店・専門店、スーパー(食品)がない(スーパーの撤退)。 商店街の閉店が早く、20時以降は人がいなくなる。 物販商店は、外販割合が増えている。	生鮮三種(食料品店)が残っている。 年配の方向けの店が残っている。 チェーン店以外の地元店が多い。 お土産に持っていく店がある。 昔ながらの店があり、面白いお店がある。 やる気のある店主が残っている。 老舗の店の客が増えている。 大手・FCの飲食店が増えている。
商店街の活性化	商店街の人通りが少なく、さみしい。 商店の後継者不足(高齢化)。 まち歩きに便利なマップがない。 「煮ぼうとう」が食べられる店が旧中山道商店街(街中)にない。 観光資源が少ない。 休憩スペースが少ない。 町の景観が保たれていない。 店舗個々の魅力が弱く、集客数の多い商店(施設)がない。 市街地への出店が少ない。	お菓子屋さんが多い。 自転車で遊び回れる街並み形成されている。 利用できそうな空き地がある。
イベント・ソフト事業・活動	自治会費が毎年少なくなっている。 祭りの参加者がだんだん少なくなっている。 人が集まるためのソフト対策が不十分である。 歴史ある深谷文化が活かされていない。	老人会の活動が盛んである。 お祭りなど歴史的行事を継続されている。 食べ歩きができる店・資源がある。 祭り、七夕、産業祭などの実施により一時的なにぎわいがある(人手が多い)。 映画やテレビのロケがあり有名である。 セツ梅に来る人、ネットで調べて深谷に来る人などマニアックな来街者がいる。

③生活・安全安心に関する課題

キーワード	課題	
	弱み	強み
集まる場所	—	駅や駐車場があり、通勤する人のアクセスが多い。 公共施設(市役所・学校)や病院・銀行などがある。 ホテルなどの宿泊施設がある。
雇用	オフィス(会社)が少ない。 雇用の場が少ない。	
市街地整備環境	駅前整備や区画整理事業の進捗が遅い。 空き地が多くなり土ほこりの害が出る 空き地が多い 路地がなくなってしまって面白くない 中山道交差点に右折帯がないので不便である。	夜は暗くなく、安全である。 インフラ整備ができていない(特に下水・光ケーブルなど)。
教育・医療	病院はあるが救急医療がない。 避難場所はあるが知らない人が多い。	近所の助け合いにより、子育てしやすい環境である。 深谷小学校の人気があり、通わせたいと人が移ってくる。 保健センター・保育・幼稚園・小・中学校など、子育て支援は整っている。 学習塾など教育関連施設が増えている。
安全・安心の生活	住宅や人口が減少している。 歩道が少なく、歩行者に危険な道路が多い。 車いす・ベビーカーが通りにくい。 公衆トイレがない 高齢者が安価に住める住宅がなく、お店も少ない。	大きな災害がない。 唐沢川の花壇など良好な環境が整っている。

④環境・街並み形成に関する課題

キーワード	課題	
	弱み	強み
交通アクセス・道路・駐車場	公共交通手段が不便である。 車がアクセスしにくい。 月極駐車場の空きが増えている。 地域によっては駐車場が少なく、店用の駐車場が確保しにくい。 歩道が少ない(道路幅がない)。	全体として駐車場が多い。 空き地が駐車場として使える。 雰囲気の良い路地が残っている。
市街地整備環境	駅前整備や区画整理事業の進捗が遅い。 空き地が多くなり土ほこりの害が出る 空き地が多い 路地がなくなってしまって面白くない 中山道の交差点に右折帯がないので不便である。	夜は暗くなく、安全である。 インフラ整備ができていない(特に下水・光ケーブルなど)。
住宅	土地の流動性が少ない。 アパート等賃貸住宅が少ない。 老朽化した建物が多い。	マンションが立地している。 建築許可の制限が少ない(商業地域)。 ファミリー向けのマンション需要がある。
環境	建物はあがるが空家が多く、駅周辺がさみしい。 歴史があるため、発展が少ない環境である。	唐沢川がきれいになっている。 ポイ捨てごみが減って町がきれいである。 ごみ収集日が多い。 子どもが少なくなって町内が静かになった

(3) 中心市街地活性化の将来目標

歴史のまちに誰でも集える空間をつくろう（案）

- 昭和のにぎわい、古き良き雰囲気を彷彿させる地域づくりに取り組むとともに、地域住民が日常生活のなかでほっとできるようなまちづくりを進める。
- 歩いて暮らしやすいまちづくりを進める。
- 子育てしやすい環境をつくり、若者の定住、人口増加を図る。
- 高齢者から子どもまでの世代間交流により、地域活動やまちづくり活動に若者を取り込み、次世代への継承を図る。
- 地域住民が生活しやすい中心市街地の活性化を進め、地域資源を活かした来街者との交流を図る。

(4) テーマ別の将来目標

① 商店街活性化・イベント

歴史を活かした憩える、集える、毎日何かやっているまち

地域のレンガ建築物等の歴史・文化的資源を活用し、地域住民や来街者が集まり、交流できる場づくりを行い、年間のイベント・地域活動を通して、中心市街地で毎日何かをやっている感じさせるまちづくりを進める。

② 生活・安全安心

健康で、歩いて暮らせるまち

中心市街地内を安全安心で歩いて暮らせるまちづくりを進め、地域住民が中心市街地内を歩き、散歩することにより健康なまちづくりを進める（医療費の削減につなげる）。

③ 環境・街並み形成

道路アクセスがよく、歴史を尊重したまち

区画整理事業に併せて、周辺部からのアクセス性向上のための道路整備を行い、歴史的な建造物・資源等を活用しながら、古いものと新しいものが調和することによる歴史を尊重したまちづくりを進める。

(5) 中心市街地活性化の提案事業

① 商店街活性化・イベント

事業名	内容	優先度
イベント事業		
「映画祭」開催時の相乗りイベント事業	中心市街地で開催している「映画祭」に併せて、各種イベントを企画・実施し、より多くの来街者を確保する。	1
地元高校生を対象とした市街地でのイベント事業	高校生を対象としたイベントや PR に一緒に取り組み、中心市街地における若者の活動の場、中心市街地まちづくりへの参画機会を広げる。	
七ツ梅での『寄席』開催事業	七ツ梅において、地域住民や来街者等の交流の場となる『寄席』を開催し、地域コミュニティの再生、にぎわいの創出を図る。	
観光PR・拠点づくり事業		
「まちの駅」整備事業	観光案内窓口やPRの拠点として、中心市街地内に「まちの駅」を整備する。	2
七ツ梅拠点づくり事業	西側の拠点である「七ツ梅」を地域活動の拠点、交流の拠点として、機能の充実、活用を図る。	
「中山道」ガイドマップ作成事業	中心市街地の歴史的資源を PR、情報発信するため、「中山道」を中心としたガイドマップを作成し、中心市街地を回遊しながら見学・観光できるようにする。	
食べ物マップ作成事業	お菓子屋、飲食店などを中心とした「食べ物マップ」を作成し、「食」による中心市街地の回遊性の向上を図る。	
ロケ地PR事業	映画やテレビのロケ地として PR するため、エキストラ募集、市民ネットドラマの制作に取り組む。	
歴史的な建物PR事業	中心市街地の歴史的資源を PR、情報発信し、中心市街地を回遊しながら見学・観光できるようにする。	
憩いの場・集いの場づくり事業		
街なか休憩所・縁台整備事業	休憩スペースが少ない中心市街地において、空き店舗や空き地を活用した街なか休憩所や縁台の整備に取り組む。	3
「お父さんの憩いの場～屋台横丁」事業	地域住民の飲食・交流の場として、昔ながらの雰囲気を残した「屋台横丁」を設置し、にぎわいの創出を図る。	
高齢者交流空間整備事業	一人暮らしの高齢者が多くなっている中心市街地において、高齢者が交流できる場を整備する。	
商店街「お休み処」設置事業	商店街において、地域住民や来街者が休憩し、回遊しやすくするため、「お休み処」を設置し、提供店の募集及びマップ作成に取り組む。	
街なか公民館事業	地域における公民館活動を街なかで展開し、中心市街地に活性化につなげる。	

商業活性化関連事業		
商店街空き店舗活用事業	商店街の空き店舗を活用し、企業や若者に貸し出すことによって、新たな出店や起業を支援する。	4
生鮮食料品店事業	商店街直営の生鮮食料品店を出店し、店主持ち回りで経営するなど、地域マネジメントによる活性化を図る。	
生鮮三品・惣菜・パンの元気市場事業	生鮮三品・惣菜・パンの元気市場を出店し、商店街直営で運営するなど、地域マネジメントによる活性化を図る。	
その他事業		
ファサード統一事業	中心市街地の歴史的な建築物との調和を図り、商店街においても昭和レトロな街並み形成するための、ファサードの統一に取り組む。	—
横丁再現事業	中心市街地の歴史的な建築物との調和、ファサードの統一を図り、横丁の街並みを再現する。	
レンタサイクル事業（市民向け）	市民向けのレンタサイクルにより、市民の中心市街地の回遊性の向上を図る。	

② 生活・安全安心

事業名	内容	優先度
レンガ建築物活用事業		
レンガ蔵等の歴史ある建物の有効利用事業	歴史的な建造物やレンガ建造物などを有効活用し、建物の保存を図るとともに、中心市街地のにぎわい、回遊性の創出を図る。	1
レンガ建築物継承事業	深谷市の地域性にある街並み、歴史・文化の保全を図るため、歴史的な建造物やレンガ建造物などを保存・継承する。	
高齢者が住みよいまちづくり事業		
高齢者パワー活用事業	元気な高齢者が多く、高齢者パワーを活用したイベント・行事や様々な活動を企画する。	2
高齢者に対する災害時の避難支援事業	高齢者の一人暮らしが多く、災害時には、地域コミュニティを活用した避難支援を実施する。	
中心市街地の利便性を活かした取り組み検討事業	深谷駅や公共施設等の集積により利便性の高い中心市街地に強みを活かして、イベント活動や街なか居住等の取組を進める。	
広場・休憩スペース整備事業		
子ども広場整備事業	空き地等を活用して、子どもが安全に遊ぶことができる広場を整備する。	3
街なか休憩スペース創出事業	休憩スペースが少ない中心市街地において、空き地を活用して、休憩スペースを設置する。	
公衆トイレ整備事業	休憩スペースが少ない中心市街地において、地域住民や来街者の回遊性を促すために、公衆トイレを設置する。	

歩行者のためのまちづくり事業		
歩行者専用道路整備事業	地域住民の散歩等の回遊性を高めるため、歩行者専用道路を整備する。	4
適切な駐車場整備事業	中心市街地全体では駐車場は多いが、地域によっては駐車場が不足しており、地域バランスに配慮した駐車場整備を行う。	
適切な広さの歩行空間整備	道路幅員が狭く、歩行者の危険性を改善するため、歩行者が安全な歩行空間を確保する。	
歩行者に配慮した歩行空間整備	道路幅員が狭く、歩行者の危険性を改善するため、歩行者が安全な歩行空間を確保する。	
空地の舗装処理	空き地を舗装して、イベントや地域活動の拠点となる広場を整備する。	
にぎわい・利便施設整備事業		
キンカ堂跡地利用計画	キンカ堂跡地の利用計画について、市民主体で作成し、中心市街地のにぎわいの拠点となるように活用する。	5
複合施設整備事業	中心市街地の拠点となる施設が不足しており、にぎわい・交流の拠点となるような複合施設を整備する。	
救急病院の整備	病院などの医療機関はあるが、救急の対応が不足しているため、救急病院を整備する。	
土地区画整理事業進行時の暫定改良	土地区画整理事業の進行中においては、空き地の増加によるにぎわいの喪失が懸念されるため、暫定的な改良により、仮設的なにぎわい創出を図る。	
電線地中化事業	電線を地中化することにより、街並み景観の向上、統一した街並み形成を図る。	

③環境・街並み形成

事業名	内容	優先度
イベント事業		
空き地利用イベント事業	中心市街地に多く存在する空き地を利用して、各種イベントを実施し、広場的な活用を図る。	1
朝市・フリーマーケット事業	商店街や周辺住民が中心となって、朝市やフリーマーケットなどのイベントを実施する。	
六さい市復活事業	中山道の歴史ある六さい市を復活し、にぎわいのある商店街を創出する。	
学生とのコラボ事業（イベント、PR）	高校生や大学生とコラボレーションして、中心市街地のイベントやPRと一緒に取り組み、中心市街地における若者の活動の場を広げる。	
町中花いっぱい運動事業	元気な高齢者や地域住民により、中心市街地の花いっぱい運動に取り組み、緑化による環境づくりに取り組む。	

区画整理事業関連事業		
区画整理・駅前通りの早期整備	区画整理事業の遅れにより、空き地等の増加による中心市街地の衰退につながっているため、区画整理・駅前通りの早期整備を図る。	2
市民主体のまちづくりを考える会設置事業	区画整理事業による良好な街並み形成を図るため、市民主体により「まちづくりを考える会」を設置し、将来のまちづくりについて考える。	
街並み景観条例づくり	「まちづくりを考える会」により、区画整理後の将来の街並み形成に向けた街並み景観条例の検討を行う。	
花園 IC からのアクセス向上	広域からの中心市街地への来街者の増加を図るため、花園 IC からのアクセス利便性を高める。	
空家・空き地活用事業		
路地空間づくり事業	中山道を中心に残っている路地空間を継承し、区画整理事業においてもヒューマンスケールの空間を形成する。	3
空家活用休憩サロンづくり事業	休憩スペースが少ない中心市街地において、空家を活用して、休憩サロンを設置する。	
空き地が活用休憩所づくり事業（ベンチ、パラソル）	休憩スペースが少ない中心市街地において、空き地を活用して、ベンチやパラソルなどの仮設的な休憩スペースを設置する。	
レンガ建物・歴史的建築物活用事業（休憩コーナー、カフェ等）	歴史的な建造物やレンガ建造物などを休憩コーナーやカフェとして活用し、建物の保存を図るとともに、中心市街地のにぎわい、回遊性の創出を図る。	
記念写真スポットづくり事業	歴史的な建造物やレンガ建造物・煙突、お寺・神社などを記念写真としてもスポットとして PR し、来街者の増加と中心市街地内の回遊を図る。	
休憩場所（トイレ）設置事業	休憩スペースが少ない中心市街地において、トイレなどの休憩場所を設置する。	
PR 事業		
歴史資源案内・表示事業	中心市街地の歴史的資源を PR、情報発信するため、案内表示を設置し、中心市街地を回遊しながら見学・観光できるようにする。	4
街なか案内ボランティア事業	中心市街地の歴史的資源を PR、情報発信するため、地域住民による案内ボランティアに取り組む。	
歴史的建築物ガイドマップ作成事業	中心市街地の歴史的資源を PR、情報発信するため、歴史的建築物ガイドマップを作成し、中心市街地を回遊しながら見学・観光できるようにする。	
渋沢栄一 PR 事業	幕末から大正初期に活躍した渋沢栄一の生誕地として PR し、来街者の増加を図る。	
深谷文化・偉人 PR 事業	歴史的な建築物や渋沢栄一などの歴史・文化を PR、情報発信し、中心市街地を回遊しながら見学・観光できるようにする。	
桜並木 PR 事業	深谷駅に近接する桜並木を PR し、花見客など来街者や観光客の増加を図る。	

空間づくり事業		
まちなか美術館・博物館事業	歴史的な建造物やレンガ建造物・煙突、お寺・神社など、中心市街地の歴史的資源を活用し、中心市街地を回遊しながら見学・観光できるようにする。	5
レンガ建物観光化事業	レンガ建物などの歴史的資源を活用し、中心市街地を回遊しながら見学・観光できるようにする。	
唐沢川おしゃれな歩行空間づくり事業	水がきれいになった唐沢川を活用して、おしゃれな歩行空間をつくり、中心市街地のにぎわいを創出する。	
明治維新のイメージまちづくり事業	歴史的な建築物や渋沢栄一などの歴史・文化を活用し、明治維新をイメージしたまちづくりを進める。	
街なか緑化事業	街路樹や植栽などの緑が少ない中心市街地において、緑化による環境づくりに取り組む。	
その他事業		
街路灯設置事業	夜になると暗い地域もあるので、街路灯を設置し、明るく安全な中心市街地を形成する。	—
バス無料化事業	周辺部から中心市街地へのアクセス性を高めるため、バスの無料化を目指す。	
公営住宅整備事業	中心市街地内の利便性を活かした街なか居住を図るため、公営住宅の整備を提案する。	
御用聞き制度づくり事業	つながりのあるコミュニティを活かし、高齢者や子育てに関する御用聞き制度をつくり、中心市街地の相談窓口を設置する。	
地元名産開発事業	地酒を使った酒ボンボンやネギミソふりかけ等、深谷市の資源や農産物を活用した地元名産を開発する。	

(6) 提案事業のモデル的検討

① 商店街活性化・イベント

年間イベントプログラム

- ・野菜サミット(年5回)、100円商店街(年3~4回)、にぎわいた市(毎月最終土曜日)などの年間を通じたイベントと連携して、総合的にイベントに取り組む事業である。

◎取組スケジュール

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
	ハーフマラソン		花フェスタ			七夕		映画祭			
			ミステリーツアー			深谷祭			産業祭		
											妙見市

◎取組の主体

【主体】

- ・商店街(イベントのコマーシャルやPR など)

◎取組の役割分担

◀行政の役割▶

- ・道路使用など警察との協議
- ・大々的な情報発信PR
- ・補助金により参加できる店を増やす

② 生活・安全安心

レンガ建築物活用事業

- ・歴史的建物を有効利用するため、若い人の工房やお店、若者の住宅として活用し、使ってもらいながら保全する事業である。

◎取組の主体

【主体】

- ・コーディネートできる人



【協力】

- ・自治会・商工会議所・NPO 団体 など

◎取組の役割分担

《住民の役割》

- ・提供していただけるかなどの情報収集
- ・条件整理（金額など）

《行政の役割》

- ・国や県に働きかけ資金の応援
- ・助成・補助金（国・県）

◎関連事業

① 空き店舗活用事業

- ・若者の就労、生活の拠点として、空き店舗を活用し、定住を図る。

② 世代間交流事業

- ・空き店舗や歴史的建物を利用して、子育て支援の拠点等をつくる。

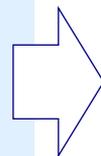
定住促進に向けた売り込み

- ・中心市街地の生活面における強みを PR し、定住促進、人口増加を図るための事業である。

◎PR ポイント

【PR ポイント】

- ・安全で住みやすい環境
- ・子育てしやすい環境
- ・学校教育のレベルが高い
（アカデミックな雰囲気）など



【PR 方法】

- ・マスコミへの売込み（マスコミ向けしやすいネタの提供）

◎取組の主体

【協働で取り組む】

自治会

学校関係

行政

③ 環境・街並み形成

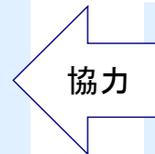
イベント事業

- ・朝市・フリーマーケット事業や六さい市復活事業、学生とのコラボ事業（イベント、PR）など、街並み形成に向けたイベントに総合的に取り組む事業である。

◎取組の主体

【主体】 イベント内容によって主体が異なる

- ・フリーマーケット：住民個々
- ・六さい市：商店街連合会
- ・学生コラボイベント：学生 など



【協力】

- ・商店、商工会議所など

◎取組の役割分担

《住民の役割》

- ・気持ちの若い人による青年部の立上
- ・イベントへの参加

《行政の役割》

- ・行政的交渉（警察・消防）

市民主体のまちづくりを考える会設置事業

- ・区画整理事業による良好な街並み形成を図るため、市民主体により「まちづくりを考える会」を設置し、将来のまちづくりについて考える事業である。

◎取組の主体

【主体】

- ・地権者
- ・まちづくりの専門家
- ・NPO 法人 など

市民主体で会を立ち上げ、自主的にまちづくりを考える

◎取組の役割分担

《住民の役割》

- ・どうすれば区画整理が進むかを考える
- ・将来的にまちづくりルールを考える

《行政の役割》

- ・オブザーバーとして参加

◆市民ワークショップのまとめ

【中心市街地の課題】

<p>①中心市街地の共通課題</p> <p>人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・合併により市の人口が増加した ・街並みを見に来る人やホテル等の宿泊客数が増えている ・アパート・マンションの入居率が比較的高い 等 <p>高齢者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の一人暮らしが増えている ・高齢者の元気・パワーがあり、面倒見る人が多い 等 <p>子ども</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの数が少ない ・高校生の通行量が多い 等 <p>地域資源・歴史</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お寺や神社、造り酒屋、レンガ煙突・レンガ建造物、古い建物等の歴史資源が多い 等 	<p>②商店街活性化・イベントに関する課題</p> <p>集まる場所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅や駐車場があり、通勤する人のアクセスが多い ・公共施設(市役所・学校)や病院・銀行などがある 等 <p>商業・店舗</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商店街にお店・商品が減少しており、空き店舗が多い ・魅力ある店、新しい系統の店が少ない ・生鮮三種(食料品店)が残っている 等 <p>商店街の活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商店の後継者不足(高齢化) ・休憩スペースが少ない 等 <p>イベント・ソフト事業・活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・祭りの参加者がだんだん少なくなっている ・お祭りなど歴史的行事を継続されている 等 	<p>③生活・安全安心に関する課題</p> <p>雇用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雇用の場が少ない 等 <p>市街地整備環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅前整備や区画整理事業の進捗が遅い ・路地がなくなってしまって面白くない 等 <p>教育・医療</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病院はあるが救急医療がない ・近所の助け合いにより、子育てしやすい環境である 等 <p>安全・安心の生活</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住宅や人口が減少している。 ・歩道が少なく、歩行者に危険な道路が多い ・大きな災害がない。 ・唐沢川の花壇など良好な環境が整っている 等 	<p>④環境・街並み形成に関する課題</p> <p>交通アクセス・道路・駐車場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共交通手段が不便である ・全体として駐車場が多い 等 <p>市街地整備環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅前整備や区画整理事業の進捗が遅い ・路地がなくなってしまって面白くない 等 <p>住宅</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アパート等賃貸住宅が少ない ・老朽化した建物が多い ・マンションが立地している 等 <p>環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建物はあるが空家が多く、駅周辺がさみしい ・唐沢川がきれいになっている 等
---	---	---	---

【中心市街地の将来目標】 **歴史のまちに誰でも集える空間をつくろう(案)**

- 昭和のにぎわい、古き良き雰囲気を彷彿させる地域づくりに取り組むとともに、地域住民が日常生活のなかでほっとできるようなまちづくりを進める。
- 歩いて暮らしやすいまちづくりを進める。
- 子育てしやすい環境をつくり、若者の定住、人口増加を図る。
- 高齢者から子どもまでの世代間交流により、地域活動やまちづくり活動に若者を取り込み、次世代への継承を図る。
- 地域住民が生活しやすい中心市街地の活性化を進め、地域資源を活かした来街者との交流を図る。

テーマ別将来目標【①商店街活性化・イベント】

歴史を活かした憩える、集える、毎日何かやっているまち

- 【イベント事業】
 - ・「映画祭」開催時の相乗りイベント事業
 - ・地元高校生を対象とした市街地でのイベント事業
 - ・七ツ梅での『寄席』開催事業
- 【観光PR・拠点づくり事業】
 - ・「まちの駅」整備事業
 - ・七ツ梅拠点づくり事業
 - ・「中山道」ガイドマップ作成事業
 - ・食べ物マップ作成事業
 - ・ロケ地PR事業
 - ・歴史的な建物PR事業
- 【憩いの場・集いの場づくり事業】
 - ・街なか休憩所・縁台整備事業
 - ・「お父さんの憩いの場～屋台横丁」事業
 - ・高齢者交流空間整備事業
 - ・商店街「お休み処」設置事業
 - ・街なか公民館事業
- 【商業活性化関連事業】
 - ・商店街空き店舗活用事業
 - ・生鮮食料品店事業
 - ・生鮮三品・惣菜・パンの元気市場事業
- 【その他事業】
 - ・ファサード統一事業
 - ・横丁再現事業
 - ・レンタサイクル事業(市民向け)

テーマ別将来目標【②生活・安全安心】

健康で、歩いて暮らせるまち

- 【レンガ建築物活用事業】
 - ・レンガ蔵等の歴史ある建物の有効利用事業
 - ・レンガ建築物継承事業
- 【高齢者が住みよいまちづくり事業】
 - ・高齢者パワー活用事業
 - ・高齢者に対する災害時の避難支援事業
 - ・中心市街地の利便性を活かした取り組み検討事業
- 【広場・休憩スペース整備事業】
 - ・子ども広場整備事業
 - ・街なか休憩スペース創出事業
 - ・公衆トイレ整備事業
- 【歩行者のためのまちづくり事業】
 - ・歩行者専用道路整備事業
 - ・適切な駐車場整備事業
 - ・適切な広さの歩行空間整備
 - ・歩行者に配慮した歩行空間整備
 - ・空地の舗装処理
- 【にぎわい・利便施設整備事業】
 - ・キンカ堂跡地利用計画
 - ・複合施設整備事業
 - ・救急病院の整備
 - ・土地区画整理事業進行時の暫定改良
 - ・電線地中化事業

テーマ別将来目標【③環境・街並み形成】

道路アクセスがよく、歴史を尊重したまち

- 【イベント事業】
 - ・空き地利用イベント事業
 - ・六さい市復活事業
 - ・学生とのコラボ事業(イベント、PR)
- 【区画整理事業関連事業】
 - ・区画整理・駅前通りの早期整備
 - ・市民主体のまちづくりを考える会設置事業
 - ・街並み景観条例づくり
 - ・花園ICからのアクセス向上
- 【空家・空き地活用事業】
 - ・路地空間づくり事業
 - ・空き地が活用休憩所づくり事業(ベンチ、パラソル)
 - ・レンガ建物・歴史的建築物活用事業(休憩コーナー、カフェ等)
 - ・記念写真スポットづくり事業
 - ・空家活用休憩サロンづくり事業
 - ・休憩場所(トイレ)設置事業
- 【PR事業】
 - ・歴史資源案内・表示事業
 - ・歴史的建築物ガイドマップ作成事業
 - ・深谷文化・偉人PR事業
 - ・街なか案内ボランティア事業
 - ・唐沢栄一PR事業
 - ・桜並木PR事業
- 【空間づくり事業】
 - ・まちなか美術館・博物館事業・レンガ建物観光化事業
 - ・唐沢川おしゃれな歩行空間づくり事業
 - ・明治維新のイメージまちづくり事業
 - ・街なか緑化事業
- 【その他事業】
 - ・街路灯設置事業
 - ・公営住宅整備事業
 - ・地元名産開発事業
 - ・バス無料化事業
 - ・御用聞き制度づくり事業

